

# THE GRANPHONIC CONCERT 6th

グラナフォニック 第6回定期演奏会&東京演奏会

グラントニック第6回定期演奏会  
2005年5月15日（日）  
13:30開場／14:00開演  
名古屋市民会館中ホール

グラントニック東京演奏会  
2005年5月29日（日）  
12:30開場／13:00開演  
東京・銀座ブロッサム（中央会館）  
賛助出演  
慶應義塾ワグネル・ソサイエティーOG合唱団

## ご挨拶

佐々木正義

本日はお忙しい中、グランフォニック第6回定期演奏会にお越し下さいまして誠に有難うございます。皆様の温かい拍手の下、定期演奏会を開催できますことを団員一同心より感謝致しております。

「グランフォニック」が結成され、はや11年目になります。学生時代から合唱が飯より好きな連中が集い、その団員数も序々に増え現在約50名の男声合唱団になりました。

その団員の大半が現役の社会人ですから、練習には並々ならぬ努力が必要になり、自宅練習にホームページで発信されている「音取り用音源」などを利用し日々努力を重ねてますが、そこは歌うこと・合唱することが如何に各々の人生・生活に大事であるか、リフレッシュに欠かせない要素であるかということを自覚しており、それぞれの方法で乗り越えております。

また真面目で熱心な連中の集団ですから発音・発声について時々プロの先生方の教えを受けたり、ドイツ語はドイツの方からネイティブな発音を勉強したり真剣に取組んでおります。

それと今一つの特長は作曲・編曲・指揮・ボイストレーニングを団員のメンバーによって自前で行っている事です。今回はオリジナル作品の発表はありませんが、これまで毎回ご好評を得て参りました。またの機会に心温まるオリジナル作品を観・聴きして頂ける事と思っておりますので、御期待下さい。

外部活動は、昨年12月名古屋オペラ協会主催のオペラ「じゅごんの子守唄」に合唱団として参加し、今一つ経験を重ねることが出来ました。

折りしも、今年は愛・地球博 愛知万博が開催されています。その上今回は初めての東京公演を行います。意義深い年に当たり、全員一丸となって皆様の心に響くよう精一杯演奏致します。

今後とも努力・研鑽を重ねて参りますので、何卒ご支援を賜りますようお願い申上げます。

●プログラム

# THE GRANPHONIC CONCERT 6th

総合演出：岩川 均  
舞台監督：北本 梓  
照明：金子 康雄  
演出助手：鈴木 香里

1

2

## 男声合唱曲集 空に、樹に・・・

作曲 新実 徳英

生きる (詩 谷川 俊太郎)  
天へ昇った川 (詩 川崎 洋)  
聞こえる (詩 岩間 芳樹)

指揮：向川原 憲一  
ピアノ：早瀬 洋子  
合唱：グランフォニック

## 懐かしき外つ国のうた とつくに

1. Love's Old Sweet Song 作曲：J.L.Molly  
2. Seeing Nellie Home 作曲：J.Fletcher  
3. Beautiful Dreamer 作曲：S.C.Foster  
4. Aura Lee 作曲：W.W.Fosdick  
5. おおスザンナ・草競馬・ネリーブライ 作曲：S.C.Foster

企画・構成・訳詞・編曲：グランフォニック  
指揮：向川原 憲一  
ピアノ：早瀬 洋子  
合唱：グランフォニック

}

喜歌劇

メリーウィドウ Die lustige Witwe

作曲：F.Lehar

- |               |                                       |
|---------------|---------------------------------------|
| 1. 序曲         | Introduktion                          |
| 2. ハンナの登場     | Entree lied der Hanna<br>und Ensemble |
| 3. ダニロの登場     | Auftrittslied                         |
| 4. ダンスの音楽     | Tanz (Finale 1)                       |
| 5. ヴィリアの歌     | Tanz und Vilia-Lied                   |
| 6. 女、・女、・女    | Marsch                                |
| 7. 心の庭のバラの花は  | Romanze                               |
| 8. 王子と王女ののはなし | Finale 2                              |
| 9. ときめく心に     | Duett                                 |
| 10. 大詰めの合唱    | Schlussgesang                         |

合唱編曲：北村協一版 他

企画・構成：グランフォニック

指揮：向川原 慎一

ピアノ：早瀬 洋子

ソプラノ：内田 公仁子

ヴァイオリン：平田 文

マンドリン：マンドリンアンサンブル・ドルチェ

ダンス：松浦 忍 松岡 由美子

合唱：グランフォニック

●贊助ステージ

スタジオジブリ作品

アニメコーラスコレクション

女声編より

1. 君をのせて「天空の城 ラピュタ」より
2. ルージュの伝言「魔女の宅急便」より
3. もののけ姫「もののけ姫」より
4. めぐる季節「魔女の宅急便」より
5. となりのトトロ「となりのトトロ」より

編曲：倉知竜也

指揮：北村協一

ピアノ：中島蘭枝

合唱：慶應義塾ワグネル・ソサイエティーOG合唱団

# THE GRANPHONIC CONCERT 6th ●解説

## 「空に、樹に・・・」

神田 久嗣

3曲の合唱曲で構成されているが、作られた時期・目的はそれぞれ異なる。〈生きる〉〈聞こえる〉は、NHK学校音楽コンクールの課題曲。〈天へ昇った川〉はラジオドラマ『多摩川』のために作曲された。いずれも『世界』がキーワードのようである。作曲者自身が『世界』と人との関係をどうとらえているかについては、著書「風を聴く 音を聴く」のなかで詳しく述べられている。

「私たちの肉体は、一個の完結した閉じたものであるように思いがちだが、空気も水も食物も、すべて『外側の世界』を私たちの中に取り込んでいることになる」「みずからを宇宙に投げ出し、投射し、開くことはさほど難しいことではないように感じられてくる」

さらに、そのイメージとして「六十二のソネット」からその一部分が引用されている。

空に樹にひとに  
私は自らを投げかける  
やがて世界の豊かさそのものとなるために

この詩は〈生きる〉の最初に登場する。作曲者は〈生きる〉で『世界』に向かって開かれたひとという存在を、〈天へ昇った川〉ではその『世界』が損なわれつあることへの危機感を、さらに〈聞こえる〉によって、その現実を前にした人の焦りと無力感を表しているかに見受けられる。

### 〈生きる〉

—あなたの手のぬくみ いのちということ—

平成7年度NHK学校音楽コンクール高校の部の課題曲である。「六十二のソネット」と「生きる」の二つの詩から、それぞれ一部が抜粋されて用いられた。提示部・再現部の「六十二のソネット」が展開部の「生きる」をはさむ形となっている。展開部のヘテロフォニー（音程・リズムにずれが生じる状態）的なヴォカリーズ（母音だけで歌われる）が特徴的で、大きくうねりつつ次第に高まりを見せ、クライマックスをむかえる。

### 〈天へ昇った川〉

—今からでは遅いのだろうか おーい川—

ユニゾン・二部合唱主体の旋法で構成されており、旋法音の密集形が終始、ピアノによって奏でられている。語りかけるように、あるいはささやくように歌いつがれ、しだいに対位法的に折り重なるように大きな盛り上がりへと向かう。

### 〈聞こえる〉

—教えてくださいなにができるか

なにができるか教えてください—

平成3年度NHK学校音楽コンクール高校の部の課題曲である。ピアノに導かれるようにユニゾンから入り、対旋律との掛け合いとなり、通常の合唱曲へと続いていく。再現部の終盤で「ラララ・・」と歌われるユニゾンが大きな開放感を与えてくれる。

# 懐かしき外つ国の歌

森重雅夫

誰にも懐かしい歌がある。童謡や唱歌を口ずさめれば若い頃の母親や故郷の風景を思い、一緒に合唱した仲間の顔を思い出すに違いない。今回私達が演奏するのは英米系の歌ばかりだが、あなたにとって「懐かしい歌」はどれだろうか。

## 1. なつかしき愛の歌

西の空が茜色に染まり、川から立ち昇る霧が谷間を埋めようとする。目を下にやれば町には灯りが点り、やがて辺りは静寂に包まれる。ここは老夫婦二人きりの家、つましい暮らしである。…若い頃はよく喧嘩をした。でもその都度和解と慰めがあった…。夫がハーモニカを取り出し、妻が共に唱う。かくして秋の夜は更けていく。

## 2. Seeing Nellie Home

ダイナ伯母さんちのキルティングパーティーが終わった後には、必ずネリーを送っていくように言われるんだ。空には星が煌めき、月は青白く堤の上に輝く。ボクの腕の中には彼女の軟らかな手が。ボクは心の中で叫ぶ「ネリー、何時までも君と一緒にだよ！」。

## 3. 夢見る佳人

初夏の午後。読書に疲れたか、ロッキングチェアに横睡む美女。アップにした髪は猛々しいほどに黒々と、が齧の後れ毛は柔らかく髣髴<sup>はかな</sup>でもある。陽が傾くと青

年はやさしく囁く「起きろよ、そろそろ夕飯だよ」。間奏では、ショパン風ピアノ伴奏に乗せてテナーのオブリガートが青年の思いを切々と唱う。

## 4. オーラリー

春、陽がさし始めた川辺の道を歩む少女。やがて歩をとめ、咲き乱れる花々の蔭で髪をとかし、身繕いをする。逆光の中に浮かぶ姿は妖精のように美しい。それを見つめる少年はつぶやく「彼女にソネットを捧げよう」と。

## 5. オースザンナ・草競馬・ネリープライ

ミンストレルショーの舞台。最初に登場するのはアラバマの田舎から恋人探しにルイジアナへと旅する青年。次は田舎競馬のギャンブラー、最後に都会の優男<sup>やさおとこ</sup>。ひとしきり歌った後、それぞれに恋人の名を叫ぶが、ギャンブラーは言いよどむ。そこへピアノの救いの手が。やがて合唱隊もトリプルコーラスになって、いやその賑やかなこと。

当初の発想は、「ロバート・ショー合唱曲集」だった。しかし、そこはタダでは済まないグランフォニックのこと。訳詩・編曲・構成に多数が関わり今回のステージが出来上がった。その成否は本日の聴衆の皆さんのがお決めになること。(しかし、私としてはグランフォニアン諸兄に言いたい「今日は頑張ってチョヨ！」と。)

# 「メリー・ウイドウ」あれこれ

森重雅夫

今年2005年は愛知万博の年である。万国博覧会は1851年のロンドンを嚆矢とするが、その16年後のパリ万博には、日本（徳川幕府および薩摩鍋島両藩）からも出品している。また、今年は喜歌劇『メリー・ウイドウ』のウイーン初演から丁度100年にあたる。

## 19世紀後半のパリとウィーン

19世紀半ば、列強諸国は首都改造に取り組んだ。それはフランスのパリ、オーストリアのウィーンも同様だった。同時に公共建造物の建設ラッシュ（その中にはオペラハウスも）が起きた。万博が期間限定のショーウィンドーなら、新築の建造物群は国力を誇示する恒久装置であった。とは言え、当時の最先端を走っていたのはパリであった。各国公使館では夜毎パーティーが催されただろうし、ブルジョワジー（有産階級）の館では詩人や音楽家の出入りするサロンが賑わった。やがて世紀末が近づくと、民族主義の流れが「ハプスブルク家の黃昏」を迫る一方、パリは第一次大戦開戦まで、「ベルエポック（よき時代）」を謳歌した。

## 未亡人と「女・女・女」と「メリー・ウイドウワルツ」

未亡人（日本では「寡婦」・「後家さん」の呼称も）と聞けば、男ならば少なからず心を揺さぶられる。この作品でも、若くて美しい主人公ハンナは夫の死後パ

リにやって来るが、莫大な遺産相続を知るポンテヴェドロ公使館勤務者も、パリの伊達男達も放っておく筈がない。しかし男からすると、女とはいぐら研究を重ねても不可解な存在である。優しくすればつけ上がりし、ちょっと厳しく当たれば泣き出す（「女・女・女」）。一方ハンナから見れば、昔の恋人ダニロは金目当てと思われるのがシャクなのか、一言「好きだ」と漏らせば済むものを素直にならない。そこに公使夫人とパリのイケメンとの恋もからんで、まことにヤヤコシイ話となる。が最後にはハンナの機転が功を奏し、すべてメタシメデタシのハッピーエンドとなり、二人はワルツ（「メリー・ウイドウワルツ」）を踊る。

今回の演奏は全曲ではなく抜粋版なので、お客様にはストーリーが分かりづらいかも知れない。だがそこは喜歌劇なので、小難しい話は抜きにして、美しい旋律と団員の名（迷？）演技を楽しんでいただきたい。そして帰路の途中、メリー・ウイドウワルツを口ずさみながら軽くダンスステップを踏んでいただけたら、望外の幸せである。

## アニメコーラスコレクション

### 「天空の城ラピュタ」より

#### 君をのせて

この歌は少年バズーと少女シータの冒險を描いたアニメ映画で流れる曲です。アニメの主題歌という枠を超えて「君をのせて」は卒業の歌として歌われることも多いと聞いています。

不思議な力を持つ「飛行石」、愛すべき海賊の家族、天空の城で墓を守るロボット・・・

### 「魔女の宅急便」より

#### ルージュの伝言

13歳になると魔女は親元を離れて自分の町を求めて旅立つことになっています。そして、自分で探し当てた町で1年間修行することで一人前の魔女になれるのです。

魔女の少女キキは黒猫のジジをお供に、ある晴れた夜、篝にまたがって旅立ちました。南の方の海辺の町を目指して・・・

この旅立ちの夜、飛んでいるキキの映像と共に流れするのが、「ルージュの伝言」です。

### 「もののけ姫」より

#### もののけ姫

少年アシタカは森を破壊する人間達と戦っている、もののけ姫と出会います。

"悲しみと怒りにひそむ、まことの心を知るは森

の精、もののけ達だけ"

人と自然とはやはり相容れないのでしょうか。

### 「魔女の宅急便」より

#### めぐる季節

魔女のキキは空から見た海のそばの町が気に入りました。そこでその町に舞い降り、トンボというニックネームの少年と知り合ったり、パン屋さんの家に下宿をして、宅急便のお仕事を始めたり・・・キキの修行が始まりました。

### 「となりのトトロ」より

#### となりのトトロ

サツキとメイの姉妹はある村にお引越しをしました。彼女達の家の隣には森があって、その森にはトトロという変わった姿の動物が住んでいました。そして、ネコバスが走っていたのです。

この歌を歌っていると、昔の日本のどこかには確かにこんな村があったかも知れない、という気持ちになります。

# THE GRANPHONIC CONCERT 6th ●プロフィール

岩川 均：総合演出

経歴

名古屋大学劇団新生

1974年東京演劇アンサンブル俳優教室

1985年養成所名古屋劇塾・劇座結成に参加  
主な舞台

木村ゼミ・劇座「フィガロの結婚」

グループ傀・劇座「雰囲気のある死体」

名古屋ミュージカル協会「ファンタスティック」

千種文化小劇場開館記念公演「オレアナ」ほか  
劇座・名古屋劇塾、その他での演出作品も多数。  
オペラ作品の演出なども手掛けている。

1985年度名古屋市芸術奨励賞受賞。

1990年度パチンコ大衆文化賞受賞。



向川原慎一：指揮

早稲田大学第一政治経済学部卒業。

グリークラブではパートリーダーと

学生指揮者を務める。その後も女声・

混声・男声合唱それぞれの分野で指

揮や演奏に多くの経験を重ねながら、楽器メーカーの音楽普及の仕事を通じて音楽理論や和声法・コード進行法などを学ぶ。

現在はグラントフォニックをはじめとしていくつかの団



体の指揮やアカペラ講座の指導のかたわら、幅広いジャンルの作曲・編曲活動を続けている。2002年からは多感で繊細な金子みすゞの一連の詩に取り組み、これまでに三十数曲の独唱曲と女声合唱曲を作曲。その一部はCD録音と楽譜として発表している。小林研一郎氏に師事。

早瀬 洋子：ピアノ

愛知教育大学音楽科卒業、同大学院修了。在学中より伴奏者として活動を開始、以来、名古屋二期会をはじめ、名古屋オペラ協会、三重県オペラ協会、名古屋市文化振興事業団、愛知県文化振興事業団、岐阜県産業文化振興事業団、長久手オペラレクチャーコンサート、などの公演に多数携わる。

また、若手声楽家の会「passo apasso」の音楽監督兼任曲伴奏者として6回のコンサートを開催。現在、名古屋芸術大学 実技助手でもある。



内田公仁子：ソプラノ

名古屋音楽大学音楽学部声楽学科卒業、同大学院修了。

第21回読売中部新人演奏会に出演。

中島美鶴、田中省三、小林史子、山田暢、宇田川貞夫の各氏に師事。

’99年より名古屋オペラセミナーにおいて松本重孝、河原廣之、揃洋子各氏に、舞台言語表現、オペラアンサンブル等を学ぶ。

西尾張地区を中心に多数のソロコンサートを開催。  
女声コーラスマリアフローラ、Belcoro、枇杷島PTAコー



ラス、Romanze（ロマンツエ）、尾西第九の会等、多くの合唱団を指導。尾西第三中学校非常勤講師。ヴィクトリア室内合唱団に所属。

#### 平田 文（ひらた あや） ヴァイオリン

名古屋市立菊里高校、東京芸術大学を経て、チューリッヒ・ヴァインタートウール音楽大学に3年間留学し、ジョルジュ・パウクの指導を受け卒業。ゾリストン・ディプロム取得。



ソロ活動のほかに、アレス・デュオ（ヴァイオリン+ギター）しらかわシンフォニアなど室内楽にも積極的に取り組んでいる。第22回マウロ・ジュリアーニ国際ギター・デュオ・コンクールにて第2位受賞。これまでに愛知県知事賞、名古屋市民芸術祭賞を受賞。第17回名古屋市新進芸術家海外研修生に選ばれロンドンにて研修。NHK-FM「名曲リサイタル」、NHK-TV「さらさらサラダ」、名古屋国際室内楽フェスティヴァルに出演。

#### 松浦 忍：ダンス

1983年ダンス教師の資格を取得し、1984年プロ競技選手としてデビュー。その後、1995年にはハワイスター・ボーラダンス選手権、1997年には全英選手権に参加するなど華々しい活躍を続ける。

現在、株式会社ソワール代表取締役。愛知県プロダンスインストラクター協会理事を務める。

#### 松岡 由美子：ダンス

ダンススタジオ「ソワール」教師。愛知県プロダンスインストラクター協会会員（財）JBD中部プロ選手会会員



#### 「マンドリンアンサンブル・ドルチェ」

学生時代にギター、マンドリンに出会い合奏を楽しんできたメンバーが2001年7月にアンサンブルを結成。マンドリンオリジナル曲をはじめ日本の歌、外国曲など幅広く演奏し、映画「コレリ大尉のマンドリン」試写会での演奏、季節のガーデンコンサート、各種施設でのボランティアなどの演奏活動を行っています。

I stマンドリン・溝祥子、平野明洋

II ndマンドリン・梶野美弥子

マンドラ・鶴原節子

マンドセロ・山田雅子

ギター・千代田総子

コントラバス・榎原悦子

## 北村協一：指揮

1954年 関西学院経済学部卒業後、東京コラリアーズ入団、1960年、藤原歌劇団入団、「68年、二期会合唱団常任指揮者となる。'73年、第6回文化庁芸術家海外派遣研修生として渡欧。以後オペラを中心に指揮活動を行い、「90年、故福永陽一郎氏の後を継ぎ藤沢市民オペラの指揮を務める。

また、神戸市混声合唱団、関西学院グリークラブ、慶應義塾ワグネルソサイエティー男声合唱団、をはじめとして、多くのプロフェッショナル、アマチュア合唱団の指導にあたり、特に黒人靈歌、邦人作品の解釈には定評がある。

また、関学グリー、立教グリー、アラウンドシンガーズを率いてニューヨーク カーネギーホール、リンカーンセンター、ボストンシンフォニーホール、ウイーン樂友会ホールなどで指揮し好評を博す。

故森 正、今村征夫の両人に師事。

現在、国立オペラ研修所講師、二期会合唱団音楽監督としても活躍中。



## 中島薗枝：ピアノ

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。

1986年、NHK 洋楽オーディション合格。1988年、オーストロ メヒヤーナ ピアノコンクール第2位入賞（ウイーン）。1989年、シーベルト国際ピアノコンクールファイナリスト（グラーツ）。同年ウイーン国立音大卒業。1991年、第3回シーベルト国際ピアノコンクール第5位入賞（ドルトムント）。1990年より国内でソロリサイタルを開催し、NHK-FMリサイタル等に出演するほか、レコーディングへの参加、またアンサンブルピアニストとしても活躍している。2000年3月には、チェコスロバキア、マルタ共和国でのソロリサイタルを行い、新聞批評では、音色の美しさ、表現力が高く評価された。

越智さゆり、木嶋瑠美子、マックスエッガー、ハンス・グラーフ、ユルゲン ウーデヴアレリア セルヴァンスキ、ミハイル ヴォスクレセンスキの各氏に師事。



## 慶應義塾ワグネル・ソサイエティーOG合唱団

1970年、慶應義塾ワグネルソサイエティー女声合唱団創立20周年記念定期演奏会にOG有志が賛助出演し、それをきっかけとしてOG合唱団が結成される。現役時の指揮者 北村先生に懇願して今まで35年の長きに亘り指導していただいている。

当初は、現役の定演への賛助出演、OB合唱団の演奏会への賛助出演を経て、1975年に第1回定期演奏会を青山タワーホールで行う。以来、2年に1度の定演は昨年6月の紀尾井ホールで16回を迎えていた。又、定演の合間にワグネル女声現役の定演、OB合唱団定演の賛助出演、OG 6連への参加、アラウンドシンガーズの演奏会への参加などの活動を行っている。

例えば、2000年にワグネル女声合唱団創立50周年記念演奏会で現役と”水のいのち”の合同演奏を行う。2001年にはワグネルソサイエティー創立100周年記念演奏会での”第九”に参加。2002年8月にはパリ演奏旅行を行っている。



また、つい最近ではアラウンドシンガーズのシカゴ、ニューヨーク、サンフランシスコでの演奏会に参加し、カーネギーホールの舞台で歌う経験をするなど、充実した活動である。

結成当時からのメンバーを含め45~50名が北村先生の辛らつかつユーモラスな指導の下、美しいハーモニーを作り出そうと楽しく練習している。

Sop

赤倉奈美子  
河村 正子  
野々山峻子  
庄司 法子  
渡邊久美子

菊地かほる  
森山とも子  
野中 節子  
鈴木 裕子  
渡邊久美子

神岡 悅子  
中熊 淳江  
白井早紀子  
安原 明子

Mez

秋山 典子  
小久保伊津子  
中川 陽子  
織畑 典子  
竹内芙美子  
渡辺 恵子

土井まさ子  
槙 道子  
中川由紀子  
作田 信子  
棚井 靖子

福永 博子  
松井 道子  
中村 寛子  
宿谷美恵子  
豊田 正子

Alt

天野 隆子  
池田 一子  
三田 洋子  
小澤喜久子  
高橋小枝子  
山田 紀子

浜本 和子  
板橋 和子  
守田 一美  
末永 房子  
寺本満喜子

飯高伊磨子  
小谷津光子  
岡田 牧子  
菅原 治子  
矢野多美子

## グランフォニック

時代は“韓流”から“G流”へ

新谷 岳史

昨年日本を席巻した“韓流”的に「来る」ものはないでしょうか。それは、間違いなく“G流”です。“G流”ってなに?と思われるかもしれません、それは“グランフォニック流”の短縮形であり、そう、今ステージ上で展開されている世界そのものが“G流”なのです。しかし、“G流”を理解するためには、もう少し説明が必要です。

今から十一年ほど前、数人でスタートした源流は、次第に大きな流れとなり、定期演奏会を中心に様々な音楽活動を展開してきました。そして、2000年正式に名称を「ザ・グランフォニック」とし、同時にパーティカルカンパニー「グランフォニック商事株式会社」を設立、「歌を通じて生きる喜びを感じ、伝えること」を経営理念とし、「より高度な水準を目指す」「オリジナル作品を大切にする」「ドイツ語(またはその他の外国語)の曲をキチンと歌う」という三大方針を確立しました。これが“G流”的のバックボーンです。

“韓流”同様、“G流”も担い手は妙齢のご婦人方です。「ヨン様」はファンを「家族」と呼びましたが、“G流”的の場合、本当の「家族」であったりします。確かに日常では、ややくたびれかけたおじちゃんかもしれない。しかし、ステージ上で歌い踊る(?)姿は、まさに「元気はつらつ?オフコース」。「ほれ直したわ」。貴方の「ヨン様」は意外に身近にいたのです。そんなことに気づく、これも“G流”的の魅力のひとつです。

今、元気な名古屋から、われわれは“G流”という大きなうねりを起こしたいと思っています。今日ご来場し

ていただいた皆様が、“G流”的の体現者として、「生きる喜び」を改めて感じてくださったと信じ、これからも精一杯活動を続けてまいります。

時代は“韓流”から“G流”へ。皆様方のご支援よろしくお願い申し上げます。

T<sub>1</sub> 佐々木正義 三ツ松 平 池田 研一  
伊藤 高潤 神谷 立正 田中 良夫  
鹿住 誠 向川原慎一 片田 保彦  
藤田 東一 小林 武 岡本 達幸  
常川 浩

T<sub>2</sub> 吉居 清 柴田 道昭 飯田 公男  
佐藤 正 森重 雅夫 三ツ口勝弥  
石井 清 伊東 健光 間瀬 譲  
新谷 岳史 林 功 中村 嘉夫  
渡辺 隆 井上 恵太

B<sub>1</sub> 藤山 祐司 浅野憲一郎 小林 武久  
細江太喜雄 永井 一美 神田 久嗣  
弘瀬 嘉夫 長谷川利孝 伊藤 慎二  
寺島 正晃

B<sub>2</sub> 外村 俊夫 井ノ口貴敏 富田 敏夫  
浅井 良之 稲熊 裕之 古田 和則  
村井 裏介 林 和宏 松原 成憲  
浅田 宏 間瀬 裕士



#### 「グランフォニック」スタッフ

団長 三ツ松 平  
幹事長 石井 清  
副幹事長 新谷 岳史  
会計 細江太喜雄

合唱団へのご連絡は

(幹事長) 石井 清  
〒468-0051  
名古屋市天白区植田1-606-202  
tel:052-806-8236

#### 音楽スタッフ

指揮者 向川原慎一  
副指揮者 神田 久嗣  
コンサートマスター  
田中 良夫  
楽典長 伊東 健光

THE GRANFONIC  
<http://www.granphonic.com>

#### パートリーダー

T1 藤田 東一  
T2 森重 雅夫  
B1 弘瀬 嘉夫  
B2 浅井 良之  
富田 敏夫

# THE GRANPHONIC CONCERT 6th

グラナフオニック 第6回定期演奏会

stage.1

男声合唱曲集

空に、樹に…

詞：谷川俊太郎・川崎洋・岩間芳樹  
作曲：新実徳英

stage.2

懐かしき外つ国のうた

オーラ・リー、おおスザンナ、夢見る人 他

企画・構成：グラナフオニック  
訳詞・編曲：グラナフオニック

stage.3

喜歌劇

メリー・ウイドウ より

作曲：フランツ・レハール  
企画・構成：グラナフオニック  
合唱編曲：北村協一版 他

総合演出：岩川均  
指揮：向川原慎一  
ソプラノ：内田公仁子  
ピアノ：早瀬洋子  
バイオリン：平田文  
マンドリン：マンドリンアンサンブル ドルチェ

賛助出演（東京演奏会のみ）  
慶應義塾ワグネル・ソサイエティーOG合唱団

スタジオジブリ作品

アニメコーラスコレクション 女声編より

魔女の宅急便よりめぐる季節  
紅の豚よりさくらんぼの実る頃  
風の谷のナウシカよりナウシカ・レクイエム  
となりのトトロよりとなりのトトロ

編曲：倉知竜也

指揮：北村協一

ピアノ：中島園枝

2005年5月15日(日)

13:30開場／14:00開演

名古屋市民会館中ホール

(金山総合駅下車すぐ)

全席自由：2,000円



2005年5月29日(日)

12:30開場／13:00開演

東京・銀座プロッサム(中央会館)

(東京メトロ有楽町線新富町駅 1番出口 徒歩1分)

全席自由：2,000円